

2011

秋

Free Book

弥彦浪漫

ROMANTIC-YAHIKO
新潟県西蒲原郡弥彦村

佐渡 米山国定公園



国定公園 認定地 1950年

日本最大級 質・出品品目において全国随一の規模
弥彦菊まつり11/1~24
新潟県菊花展覧会 於：弥彦神社境内

その色は人の心を魅了する
弥彦公園もみじ谷

弥彦宿帳

村びと

山・海・平野、三眺望の弥彦山ロープウェイ

[Scenery]

昭和の懐かしさ・弥彦線

綴込 弥彦散策・周辺道路地図

identity 「村」であり続けること。



弥彦村には、多くの皆様から愛されている逸品があります。弥彦の村人が作り出だす品々は、この村だから出会える味…さあ、この秋に会いに行こう。

写真右から

■パンダ焼き（分水堂）

弥彦温泉地区地図B-14

弥彦村商工会が分水堂菓子舗に相談し、実現した弥彦むすめ（特産の枝豆）を使ったパンダ焼き。二〇一〇年の全国ご当地おやつランキング一位を受賞、弥彦むすめ館が中に入っている。食べ歩きが楽しい。

■特製わっぱ飯（吉田屋）

弥彦温泉地区地図C-13

新潟の郷土料理「わっぱ飯」。手作りの鰯系卵の上に、近海の選りぬいた魚介であるイクラと鮭がたっぷり。弥彦でのお昼ごはんに味わいたい。

■ちよこっ鬼（弥彦温泉観光旅館組合）

旅館組合のアイデアで、弥彦の名品である「玉兎」をチョコレイトにした「ちよこっ鬼」。弥彦の旅館で購入できる。7種の味わいが女性に好評。お土産にお勧め。10月初旬製造再開予定。

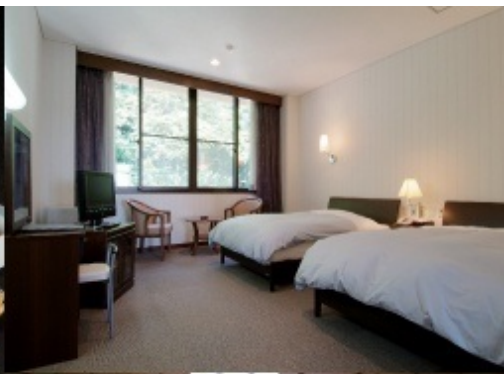


彌彦 温泉

右から
別荘の宿屋家若主人
彌彦グランドホテル支配人
JR東日本燕三条駅大沼駅長（弥彦駅管轄）
山本館若女将
総菜館支配人

この村のひとコマ、
弥彦浪漫のひとつでもある
宿のものがたりをご披露しよう。
その時々、いろいろな、
ROMANTIC-YAHIKOが
この笑顔とともに...





綜栄館

そうえいかん

高台に位置する11室の館。四季折々の景色が望めるのが自慢。弥彦では珍しく洋室、和室がそろい、館内も快適に過ごせる。温泉大浴場のほか家族風呂もある。食事は広間でわいわい楽しもう。

- (0256) 94 - 2279
- 新潟県西蒲原郡弥彦利弥彦2345-7
- 歌舞伎町 弥彦温泉地区 8-6
- 1泊2食 8,800円～13,800円

白い玉が行き来するのを、結局ずっと見ていた。
最後には参戦：1人の温泉時間は明日の朝？

駐車場に車を停めて階段を登りながら、息子の手を引こうと振り返って驚いた。さっきとはまるで違う景色に目を奪われる。あぶないあぶない、とりあえず中に入らなくては。嬉しそうに走り出す息子の後をパパが追いかけて、私はフロントでスタッフの優しい笑顔にほっとする。

「きれいですね、眺め」と話しかけると「それ喜んでもらえるのが、何よりです。ここから見える弥彦は、他にはないですよ」と返ってきた。そうかもしれない。高台に建つこの宿のロビーからは、黄金色の田んぼが続いて見える。遠くまで見渡せるこの一枚の絵画のような眺めは、美しき弥彦の四季を映し出す貴重な場所だった。

お部屋に案内してもらくと、静かだった空間が、よりいっそう緑に囲まれた気がした。しーんとした中で、息子が「お風呂に入ろう！」と騒いでいる。どうやら家族で貸切できるところもあるようです。そこらへ行ってみることに。大浴場のように温泉ではないようだが、6歳の息子とは一緒に入るのが何かと便利。みんなで入れるのが嬉しいもの。

さっぱりしてこ機嫌：部屋に戻ろうとすると、2階の広場で学生グループが楽しそうに卓球をしていた。笑い声を聞いて、パパが反応している。

「俺、中学時代は卓球部だったんだ」「そうなの？初めて聞いた」本当かどうかは知らないけど、なにやら息子に「後でパパが教えてやるよ」と話している。まだ6歳では無理じゃないの？と思ったけれど、2人がそうしている間に、私は1人で大浴場を楽しんでこようかな、なんて、黄金に輝く田園風景を眺めながら、私たちは食事処へ向かった。さて、気兼ねなく、上げ膳据え膳の食事を楽しませていただきましょうか。秋の食欲はこれから始まるの。息子のお子様ランチを見ながら、早くもお腹がぐうっと鳴る、ママの休息、秋の味。光り輝く田んぼを眺めながら、私は並べられた秋の食材たちに心躍らせた。さあ、食べるわよう食後の運動に、パパは卓球でもどうぞ。



彌彦グランドホテル

やひこぐらんどほてる

弥彦神社温泉の湯を存分に楽しめる、4つの大浴場は、女性に嬉しいパウダールームなども備う弥彦唯一の規模。朝夕入替え制で13通りの湯処を満喫できる。民芸調の品のあるお部屋が居心地良い35室の館。

- (0256) 94 - 2311
- 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦1121
- 敷地内 弥彦温泉地区 B-4
- <http://www.yahiko.co.jp/>
- 1泊2食 11,550円～



近況報告という名の、井戸端会議ですって？
だってそれが楽しいものね、私たち。

皆で集まるのは何年振りだろうか？

考えて思い当たった、そうだ以前は恵子に孫が生まれたってお祝いしたんだっけ。ポストンバックに1泊の荷物をまとめていると、息子が駅まで送ってくれると言いつ出した。それは嬉しいわ、お土産買って来るからねと言いつ、孫の方が「うん、おまんじゅ」と笑っている。大きくなったものね、もう3歳になる。2人に見送られて弥彦に到着すると、すでに友人達はチェックインを済ませていた。

「待ってたのよ、もう先にお風呂に行こうかって話してたんだから」と相変わらず明るい声で洋子が手を振っている。鮮やかな薄紫の浴衣を手にしてすっかり温泉を楽しむ気だ。いつの間にか全員揃っていたらしい。私たちは中学からの幼馴染みの4人。昔から仕切り屋の洋子と、控えめな幸子と、マイペースな恵子。そして私。皆でお風呂へ向かう。中へ入ると、ハーフ湯やミストサウナ、源泉掛け流しの湯がばあつと視界に広がった「あら、いいじゃない？」

「13種類の湯があるんですって、この宿。私が選んだのよ！」

と得意気に恵子。皆、思い思いに散ってゆく。私は体を洗ってから、まっすぐに露天風呂へ。弥彦湯神社温泉に浸かる、このしあわせじかん…。ぼうつとしていたら、洋子に「ね、同居はどうなの？大変でしょ」なんて現実に引き戻された。いやあね、そういうこと後にしてくれる？なんて笑いながら湯浴みは続き…。

すっかりゆで上がったら、夕食時間になっていた。椅子タイプの個室で4人テーブルを囲み、日本海の美味なるお刺身に手を伸ばす。こんな時には皆でビールもいじやない？と乾杯しながらおしゃべり。懐かしい顔ぶれは何年たっても変わらない。それだけで嬉しい。さて次の集まりの時には、また何人孫が増えていくかしらね。なんて思いながら、私は弥彦産のこしひかりを頬張った。あ、おいしい…。





割烹の宿 桜家

かっぱうのやど さくらや

弥彦駅の目の前に建つ、和風の宿。館内は絨毯と畳敷きになっており、スリッパなしで快適に過ごせる。貸切できる家族風呂もあって便利。露天風呂付き客室、本館新館の和室などが揃う全14室。アロマエステは30分のコースから。

- (0256) 94 - 2009
- 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦1043-41
- 敷地内 弥彦温泉地区 B-5
- <http://yado-sakura.jp/>
- 1泊2食 12,600円～



「わあ、肌ビカビカ」笑う彼女がそこにいる。
それだけで十分嬉しい、オトコゴコロです。

2人での旅行はもう何回目かになるけど、旅館は初めてだよな？前はリゾートホテルだったし。今回は私が温泉に行きたいって言ったからねえ？

道すがら、何度も同じことを繰り返す彼女に、何度もうんうん、と頷いていたら首が凝ってきた。それはいいにしても、どうやら今日の旅をずいぶん楽しみにしていることだけはよくわかる。だって今日は僕たちの記念日旅行だからだ。付き合ってから3年。ちよっと贅沢して、露天風呂付きの客室を予約した。

弥彦駅の目の前に佇む、旅館に着く。上品な桜色でまとめられた館内を、スリッパなしで気持ちよくトコトコと歩く彼女。途中で振り返って「かわいい！」と叫んだ。どうやらロビー横にあった色とりどりの浴衣が目に入っただろうだ。「何色がいいかな？」きょろんとした瞳でこちらを見るので「うーん…やっぱり桜色かな」と答える。ふふふ、と笑って彼女がまたトコトコ歩き出す。

6歳年下の彼女は、僕にとっては可愛い妹。のような存在だった。いつの間にか傍にいるのが当たり前

なあって、彼女の小さな頭をがしがしと撫でるのが、僕の好みで…。「素敵！お風呂がある」予想通りの反応に僕はほっとして、座布団の上に座った。2人で過ごす気持ちよい空間。畳の部屋で彼女がお茶を入れてくれるのを、僕は嬉しい気持ちで受け取り、のんびりと時間が経過していく。露天風呂を楽しんだ後に、また化粧品に手を伸ばそうとした彼女を、僕はあわてて止めた。「あ、ちよっと待って」素晴らしい終わらないうちに、部屋のドアがノック…。

「え？本当？」驚く彼女には内緒にしていたけど、フェイシャルエステを予約しておいたのだ。アロマエステもあるみたいだけど、あんまり待ち時間が長いと僕が退屈しちゃうからね。お手軽に20分の顔だけエステ。その間、僕はのんびりお茶を飲みながら待つ。つやつやした肌でにっこり笑う彼女を想像しながら。



山本館

やまもとかん

まもなく創業100年を迎える、弥彦駅そばの隠れ湯。昔からの建物を大切にしてきた客舎は、店内のあちこちに垣間見える。日本海の幸を丁寧に料理した夕食にも定評がある、全8室の小さな宿だ。

- (0256) 94 - 2061
- 新潟県新潟県弥彦村弥彦670
- 敷地内図 弥彦温泉地区 A-5
- <http://www.yamamotokan.net/>
- 1泊2食 10,650円～



大正、昭和、平成…時を刻む木造の空間で大切なものに、もう一度出会えた秋の夜長。

目に映るのは、紅の葉だけ…弥彦公園の美しいもみじを眺めていたら、赤ちゃんの手の平を思い出した。そう、そんな歌があったわけ。結婚して来年で50年。赤ちゃんなんてずいぶん見てない。孫だってもう大学生だ。私よりも背が大きくなったんだから、赤ちゃんじゃないわね。そんなことを思いながら歩いていると「なんだ？1人で笑って」と主人の声。ああ、ごめんささい、と歩幅を合わせる。ゆつくり歩きながら1分、公園の傍にある大正5年創業という小さな老舗宿に到着した。

玄関先から中に入ると、ふうわりと懐かしい空気が私を包む。あら？前にここへ来た事があったかしら。そう尋ねると主人は、ない、と言返しただけで、進もう方を向いている。

お部屋は1階にしてみました。お風呂もすぐ近くだし、私たちには丁度良い。廊下を歩きながら、中庭が見えて足が止まる。ぽちゃん、と鯉が跳ねている。かたかた、とガラス窓が風に揺れている。ああ、ここ知っている、と思ったり。

そう、私の母の実家に似ているんだ。大好きだったおじいちゃん

の大切にしていた縁側と、そしてその小さな庭先のもみじ。思い出してすっきりしたと同時に、何だかせつなくもなった。今の都内のマンションが、嫌だというわけじゃない。セキユリティもしつかりして安心だから、と娘夫婦が勧めてくれた。それは満足しているけど、ここへきたらそれが別世界のように思う。

「風呂でも入ってくるか」の言葉に合わせて私も支度。1人でのんびりと温泉を楽しんでいると、あつという間に時間がたっていく。少しあわてて部屋に戻ると、案の定私があどだった。

「ごめんなさいね、お待たせして」声に振り返った主人が、なぜか口元を緩ませた。「真つ赤だな、お前は」と急に私の手を取ってこう言った。

「赤ん坊の手だな、まるで」

瞬間、何十年も前の風が吹いた。知っていたはずのぬくもりが、またここへ戻ってきた。そんな気がした。



日本最大級

新潟県菊花展覧会

彌彦神社境内に、美しき菊の花が御奉納される「弥彦菊まつり」。品評会も兼ねているため、新潟県内外から多くの菊づくり愛好家の名作が集まる。愛情をかけ、丹精込めて作り上げるこの菊のひとつひとつを、じっくりと眺めてほしい。

11月1日(火)～

24日(木)

彌彦神社の境内にずらりと並ぶ菊。一般的に地味なイメージのある花だが、これほど大輪で力強くもあり、繊細でもある花だということを実感できるのは、弥彦菊まつりならでは。おやひこさまの神様が、女性ではなく実は男性であることも不思議と重なる。

どっしりとした鉢に育つ芸術性の高い花に魅了され、毎年多くの人が訪れる、日本屈指の菊まつりだ。





島居をくぐり、参道を歩く。弥彦村の夏の燈籠祭りが「動」であれば、秋の菊まつりは「静」のまつり。

参道に並ぶ花卉の繊細さ、力強さ、可憐さに目も向けていると、自然と気持ちが和らいでゆく。花の持つ大きな寛容さに体も心も委ねつつ、本殿へ向かう。

手水舎前では、畳60敷き分を菊の挿し芽で全国の景勝地を造園する「風景花壇」が現れる。約3万本の小菊を、赤、白、黄色などに色分けし、本番の半月ほど前から、手作業で丁寧に土に挿していくとか。

ああ、そうだ。この菊花展覧会は、確かに「静」のまつりではあるけど、それは多くの作り手の愛情が込められた、「深なる静」なのかもしれない。職人の技術と愛がこの花卉のひとつひとつを開かせ、輝かせる。

黄、赤、橙、紫、桃、様々な色と形は、人の個性そのもの。自分の心に響く花が、きっとここにあるはず。

本殿の前には、白く輝く菊花。美しき秋の神事が、開幕する。

村 びと

雄大な自然と信仰の村を望む。



馬場 彰二氏
(ばばしょうじ)

株式会社聚楽入社後、昭和42年弥彦観光索道株式会社へ出向。越後平野と日本海の景観を多くの人々に見てもらいたいとの仕事に従事。現在弥彦観光協会会長も務め「弥彦らしい美しさ」にこだわって宣伝活動を続けている。

弥彦山にあるロープウェイに乗車すると、紅い制服を着た女性が一〇〇〇メートル約5分の道のりをナビゲートしてくれた。その声に耳を傾けながら、黄金に輝く田園地帯を眼下に、徐々に色づく木々。紅葉は10月中旬から11月下旬が見頃：うっとりとしながら山頂へ。着いた先で目にするのは、広大な日本海の青だ。山と海が織りなす秋の景観。

このロープウェイが開業した昭和33年から、約10年後にこちらに來られたという、馬場さんにお会いした。

「日本海佐渡も、越後平野も自分のものみたいに感じられるんですよ」と熱くこの地を語る馬場さん。「昔からずっと変わらないのは、彌彦神社の周辺。この村は自然と信仰が生きている」と話す。パワースポットとして名高い彌彦神社の



弥彦山山頂六三四メートルへは、ロープウェイで山頂駅へ。弥彦山スカイライン利用の場合、山頂駐車場からケーブルカーと展望エレベーターが合体したような一風変わった乗り物「クライミングカー」で山頂を目指す。またパノラマタワーで天空を目指すのも弥彦山の醍醐味。越後平野から日本海。そしてその先の佐渡島も一望。散策りな大パノラマを楽しむことができる。

御神体こそ、弥彦山。六三四メートルの高さということでも有名だからこそ、その山頂にも目を向けて。

この地を訪れずして、弥彦山を語るなかれ：古えの言葉を胸にぐつと刻んで、秋の夕暮れが迫る。



弥彦山ロープウェイ



弥彦浪漫
ROMANTIC-YAHIKO

秋の弥彦散策・周辺道路地図

2011秋

センター縮小仕様
本誌より取外して
ご使用いただけます

弥彦村広域
ROMANTIC-YAHIKO

当地図表記の商標は コスモ石油 サークルKサンクス JX日鉱日石エネルギー 昭和シェル石油
セブン-イレブン・ジャパン 東日本旅客鉄道 日本マクドナルド 各社許諾によるものです。

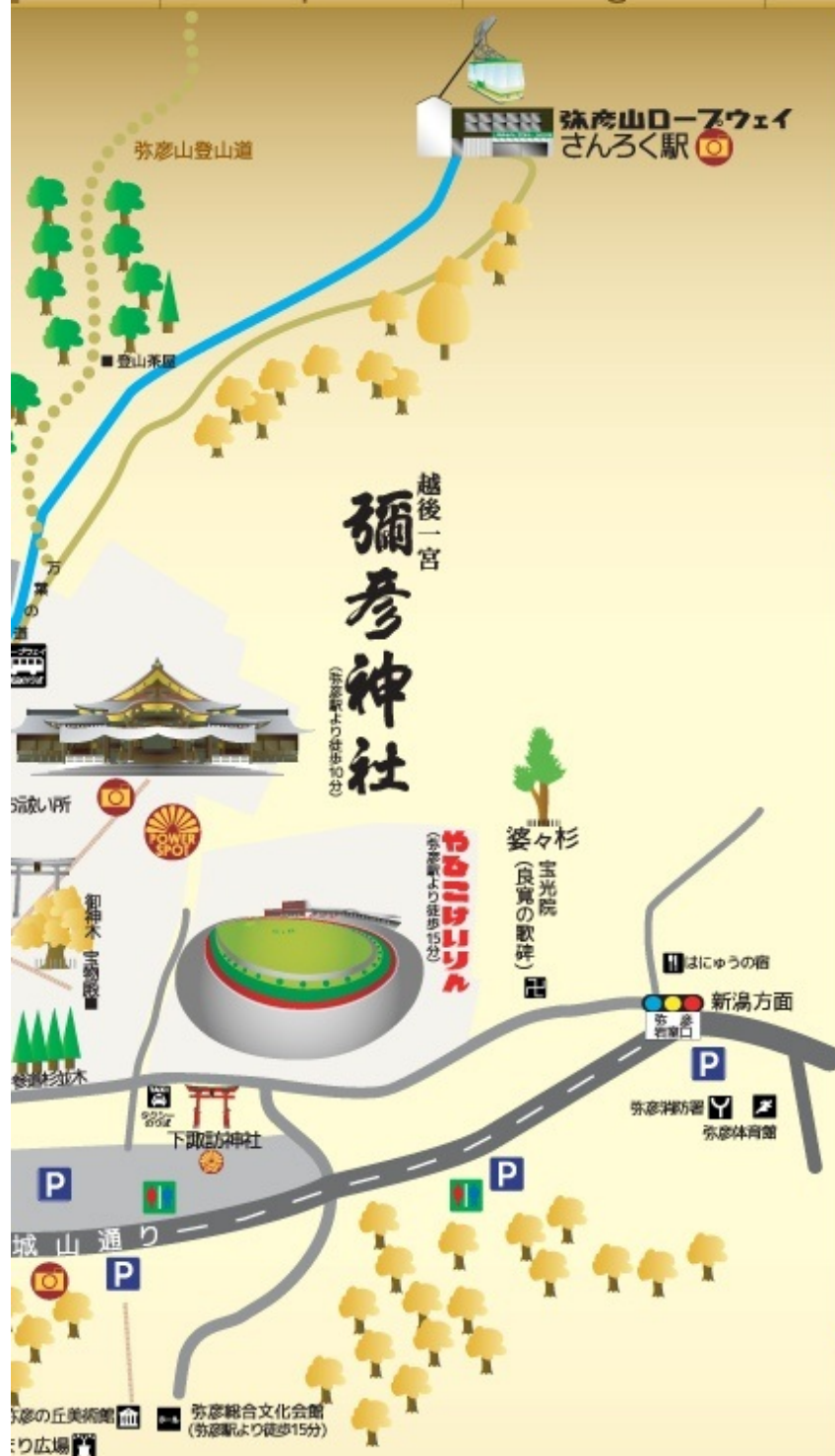


弥彦村・弥彦観光協会

〒959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦駅前
☎(0256) 94-3154 ☎9:00~17:00
<http://www.e.yahiko.com/>

凡例





ふらっと
案内

「スマートフォンをもって弥彦を歩こう！」

弥彦観光協会では、スマートフォンで利用できる「ふらっと案内」アプリを活用し、GPS位置情報と連動した観光情報配信の充実化をすすめています。
※「ふらっと案内」のダウンロード及び利用は無料です。
※ iPhone/iPadの方は App Store から、Android 端末の方は Android Market から「ふらっと案内」をダウンロードしてご利用ください。

弥彦温泉地区 ROMANTIC-YAHIKO

300M

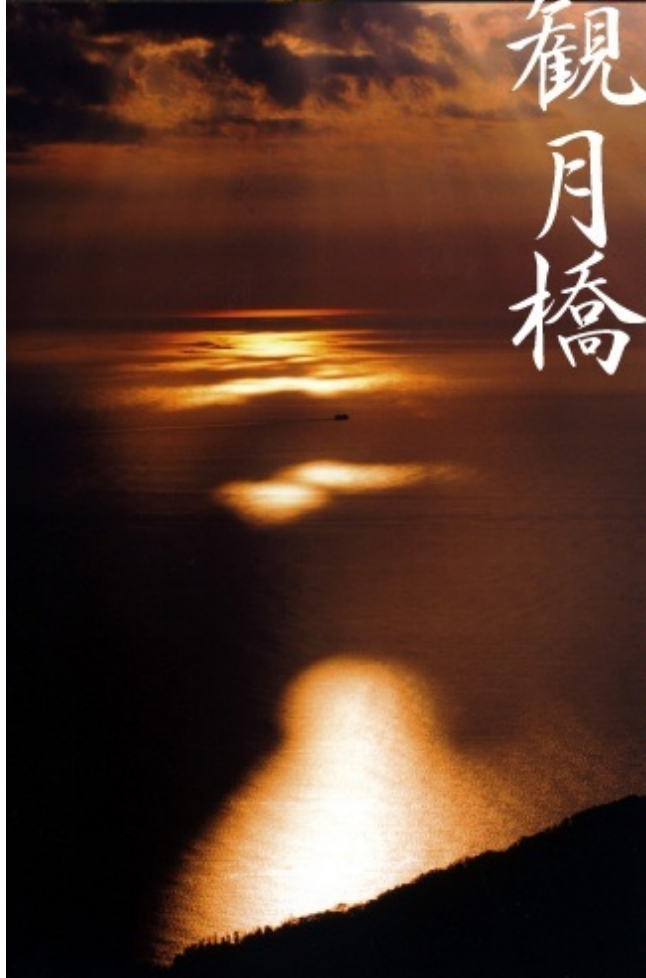
弥彦浪漫
パワー
スポット

彌彦神社 E-3
御神票廟 I-2
湯神社 A-3
祇戸神社 D-4

火宮神社 D-3
住吉神社 C-3
上諏訪神社 C-4
下諏訪神社 F-4



■佐渡弥彦米山国定公園
国定公園は、日本において国立公園に準じる景勝地として
自然公園法に基づいて環境大臣が指定した公園です。
佐渡弥彦国定公園は、琵琶湖国定公園、耶麻日田英彦山国定公園とともに、
1950年7月、国内で最初に制定された国定公園としてスタート、
1981年に米山地域を加え、名称を現在の佐渡弥彦米山国定公園と改称しました。



鮮やかに色を変えゆく
伊夜比古の
紅い追いて観月橋



紅葉ライトアップ

10月22日(土)～

11月24日(木)

16時30分～

21時30分

弥彦駅を降りたらすぐ左。そこが、弥彦の紅いの場所。彌彦神社の外苑に位置する弥彦公園は、16万㎡の敷地の中に、滝、溪流、高台、トンネルなどが美しい調和を保っている。その公園が1年で最も美しく彩られるのが、この10月下旬から11月中旬にかけて。

中でも「もみじ谷」はその名の通り、谷一面に植えられたもみじが美しく輝いて見える。昼間は公園全体の景色を見ながらの秋色を感じるに最適。そしてライトアップされる夜は、更にその紅色を濃く見せてくれるだろう。

弥彦の紅い美しさに、誰もが魅了されるひとときをのんびり歩いてみては。



弥彦の秋色は 思いがけない、紅色でした。

トンネルから見えるもみじを、幼馴染みと一緒に歩く。
そんな秋の女2人旅は、昔の自分を思い出させた。

弥彦公園へもみじを見に行く。実は初めての私を連れてきてくれたのは、幼馴染みの登喜子。「あのね、お勧めはトンネルから見てもみじ。だからちよつと遠回りして」と私の手を引く。小学生の頃におとなしくて皆の輪に入れなかった私を、そうしてくれていた記憶がよみがえる。やだ、私たちが何も変わっていない、とおかしくなった。

「あ、これが久須美東馬像。越後線と弥彦線の創始者なのよ」と指さす。弥彦線ってさっきの駅ね。そういえば弥彦線の終点がここよね。線路終点ってこの先の……「登喜ちゃん、この人の目線って、もしかして線路の先なんじゃないかしら？」そういうと彼女が驚いて像の瞳の先を行ったり来たりさせている。

「あら。そうかもしれない。よく気がついたわね。そうかもそうかも！」とはしゃいだ声で足を進めた。

トンネルが近付いてくると何だかドキドキしてくる。

ゆっくりと歩を進め、向こう側のあかりに近づいてゆく。同じように紅葉を見に来た人たちが、最初はにぎやかに歩いていたものの、トンネルの先に見えるものが明らかに無口になって。

「わあ」

それ以上、言葉が出なかった。紅、薄紅、濃い紅、そしてまぎれもない、深紅……。先にはほんのり黄紅も見えている。黄緑紅、朱紅、橙紅。同じようできて、まったく違う色を見せる弥彦の紅色に、私たちは無言になる。

そして目的の観月橋。朱塗りの橋に身を寄せて、遠くの紅葉を望む。谷の一面に、紅が広がる。

その美しき紅いに私たちは会いに来たのだ。折り重なる弥彦の秋色。ほうっとため息。

「この色って、食欲を刺激するわね」とつぶやいた声に、小学生の太った彼女を思い出した。「やあね、じゃ美味しいもの食べに行こう」女2人の秋旅はまだ続く。





弥彦山を背景に走る弥彦線 弥彦広域地図 C-2

昭和の風情 弥彦線

JR東日本最古参組の電車が行く

弥彦線は大正5年10月16日、

越後鉄道の支線・越後一宮彌彦神社の参詣鉄道として

弥彦〜吉田間が開業しました。

その為、東京方面へ向かう他線との接続のない終端駅・弥彦方面が上り、

上越新幹線や信越本線接続方面が下りとなっています。

昭和59年4月8日に電化、

JRでは珍しい直接吊架式架線のため最高速度に制限があり、

のどかな風景の中をガタゴトとんびり走っています。

懐かしい扇風機、そして二段上昇式窓に鋼製のドア、昭和の風情満喫の車内には

屈託のない地元の人、弥彦へ観光に来る人、ほんのりやさしい笑顔があります。

そんなローカル線の弥彦線は

彌彦神社や弥彦村の人々と歩み、あと5年で一〇〇周年を迎えます。

弥彦線の電車はJR東日本の現役車両では最古参組、

2両編成3本が活躍しています。

最も古い電車(Y1)は昭和40年11月16日生まれ、

他の2編成(Y2)(Y3)は昭和41年6月29日生まれ

誕生より45〜46年が経過しています。

弥彦線一〇〇周年まで現役であれば50〜51歳・半世紀、

それぞれ節目の年となることでしょう。

その節は、是非とも感謝の気持ちを込めて

弥彦線を祝福したい！そんな想いの村びと…

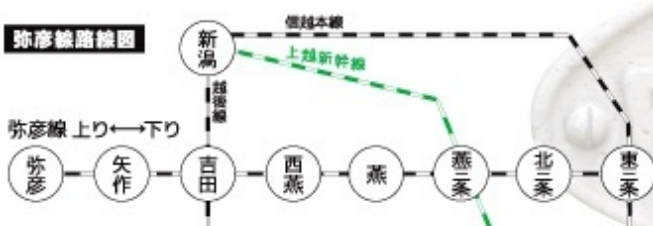
弥彦公園には弥彦線敷設に尽力した久須美東馬の像。

村の人々は、鉄道が開業した時の感謝の気持ちを

今も大切にしています。



弥彦線路線図



「誕生日は昭和40年の11月です」 秋の弥彦線からは、懐かしい声が聞こえる



弥彦公園の久須美東馬像 弥彦温泉地区A-4
鉄道敷設の所以が記されている

吉田駅で乗り換え…まだ少し時間がある。聞いた僕は、何気なく時刻表を眺めた。あれ？どうして吉田から弥彦に向かう方が「上り」なんだろう。東京に向かう方が上りのはずだから、普通は逆。そう考えていたら「正道！電車来たわよ」と母の声。まったく聴かずかしい。大きな声で呼ばなくても聞こえるというのに。

「どうしても弥彦公園のみみじが見たい」という母の希望で、僕たち家族は新潟県にやってきた。何でも昔、母はお父さんと（今は亡くなったけど、僕のおじいちゃん）一緒に子供時代に来たことがあるらしく、大人になってからも一度行ってみたいと思っていたそう。その念願叶った本日、嬉しいのはわかる。でも僕はそろそろ家族旅行なんて恥

ずかしい。渋い顔を見ると、「来年は高校受験なんだから彌彦神社でお参りもするのよ」と言われ、ついてきたわけ。

弥彦線を走る電車は、とても古かった。いつも見られているドア付近のLEDパネルや車内のテレビもなく、しつぽりと昭和の色。ドアは手動、閉まる時だけ自動だった。がたんと、ことんと、と音を立てて動き出す。父が「懐かしいなあ、これこれ」と嬉しそうに青色のシートに座る。「ねえ、すごい古いんだけど」とつぶやくと、「わかってねえなあ、お前は！」と頭をこしこしと撫で「この電車、俺と同じ歳なんだぞ。昭和40年生まれでさ！」え？「そんな昔なんだ」と答えると、昭和41年生まれの母が、ちよつとムツとした顔で「だから味



右中ノ弥彦駅舎前
弥彦線を管理する
三条駅・大池駅長と
弥彦温泉
旅館・ホテルのみなさん

下左からノ
彌彦の様子
弥彦線車内
弥彦線終端部から望む弥彦駅
弥彦駅・英園のひとコマ
弥彦駅到着後の安全点検

があるの。人生じゃなくて、えつと電車の生きる道を究めているんだから」ん？では同じくらいの年齢の母は、もうすでに人生を究めてしまったのか、と揶揄するとまた怒られた。「これに乗りたかったの。昔、お父さんと一緒に乗った時の風景と、同じ」そう言っ、母は窓の外に目を向けると、右には、大島居がちらりと見えた。もうすぐ矢作駅。そして小高い丘の谷間を抜け、視界が開けると正面に弥彦山。電車はゆつくりと弥彦駅に近づいてゆく。

彌彦神社を模したという駅に着くと、昔ながらに駅員さんが出てきてくれた。やつぱり切符もいいよな、と思っ、ついでにスライカの端末もあって利便性が高いことに、ちよつと感動。改札を抜けて振り返ると、駅員さんが小さな子どもに何か話しかけている。あ、そうだ！どうして「上り」なのかきいてみよう！そう思っ、父に「先に弥彦公園行っ、すぐに追いかけるから」と伝えると改札の方へ戻った。「あの」と声を出すと、駅員さんはにこりとしてこちらを向



協力 JR東日本新潟支社

新潟駅発着 日帰りプラン

弥彦菊まつり号 運行!!



2011. 11/1~11/24

第51回新潟県菊花展覧会

日帰りパック

VIEW
びゅう

JR東日本

2名様以上でお申込ください。
日帰り旅行

弥彦菊まつり

出発日: 11月1日(火)~11月24日(木)

◆最少催行人員/2名様 ※添乗員は同行しません。 ◆食事/昼食付き

うまさぎっしり
新潟

往復のJR + 昼食・入浴・休憩 がセット

弥彦桜井郷温泉 さくらの湯



【旅行代金】新潟駅発着 おとな(こども)1名様

2,900円(1,800円)

弥彦温泉 名代家



【旅行代金】新潟駅発着 おとな(こども)1名様

3,800円(3,400円)

弥彦温泉 彌彦グランドホテル



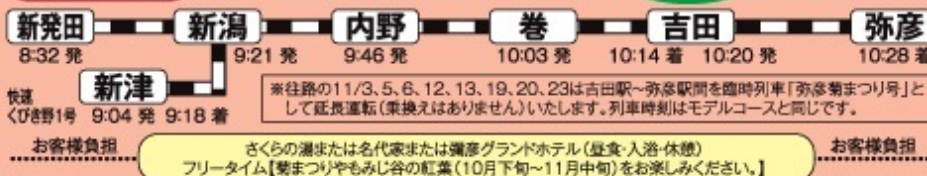
【旅行代金】新潟駅発着 おとな(こども)1名様

5,900円(5,500円)

【各コース共通】 各駅からの旅行代金差額	吉田駅	巻駅	内野駅	新発田駅	新津駅
	400円引 (200円引)	400円引 (200円引)	200円引 (100円引)	400円増 (200円増)	200円増 (100円増)

モデルコース

白新線・越後線普通列車(新発田駅~吉田駅まで直通です) ※吉田乗換え 弥彦線普通列車



弥彦線普通列車 吉田乗換え 越後線普通列車



※モデルコース以外の普通列車もご利用いただけます。

◆弥彦線・臨時列車

※11/3~23の土・休日運転



【普通列車】弥彦線

弥彦菊まつり号

◆運転日 11/3(木・祝)・5(土)・6(日)・12(土)・13(日)・19(土)・20(日)・23(水・祝)

◆運転時刻と主な停車駅



※主な駅の時刻です。弥彦菊まつり号は土・休日の「行き」のみの運転となります。お乗りは在来線普通列車をご利用ください。

お電話・インターネットでご予約&クーポン無料宅配OK!

びゅう予約センター ご予約はご出発の7日前まで承ります。(航空機利用コースおよび一部コースを除く)

0570(04)8921

インターネットで旅行情報をご覧いただけます。
URL <http://www.jrniigata.co.jp/>

携帯・PHS・IP電話・ひかり電話からは ▶▶ 025(248)5210

クレジットカードで旅行代金をお支払い(1回払いのみ) ▶ クーポンは宅配便でお届け(無料)

※ご利用いただけるカードもございます。詳細はお問合ください。
※びゅうプラザにて旅行代金のご決済・クーポンのお受け取りいただくことも可能です。
※インターネット上でお申し込みいただける商品につきましては予約センターで承ります。
※コンビニエンスストアにてご旅行代金のご決済も可能です。詳細はお問合ください。

旅行企画・実施

JR東日本旅客鉄道株式会社

弥彦菊まつりはJRで行こう! 東京駅発着 日帰り・1泊2日プラン

弥彦菊まつりと 日帰り びゅう 弥彦グランドホテル温泉入浴



菊まつり会場・弥彦神社境内に設置された花壇



弥彦グランドホテル 昼食の一部

毎年11月1日から24日まで越後一宮彌彦神社の境内で開催される弥彦菊まつりは、その出品数・出品品目において全国でも有数の規模を誇る菊花大展示会です。

弥彦の秋の風物詩として全国に名を馳せる「弥彦菊まつり」に是非、お出掛けください。

出発日 2011年 **11月1日(火) ~ 11月24日(木)**

- 食事/昼食1回付(鮭釜飯付和食)
- 旅行代金/東京駅発着おとな(こども)1名様

15,300 (10,000) 円

往復のJR(東京~弥彦) + 弥彦グランドホテル(昼食・入浴・休憩)



※詳しくは、専用パンフレットをご覧ください。

1泊2日 まほろばの弥彦温泉

名代家



夕食の一部

日本海の美味に囲まれ、のんびりくつろぐ宿。



和室(大浴場)

割烹の宿 桜家



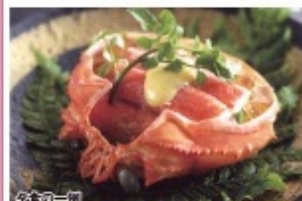
夕食の一部

弥彦駅前にある家庭的な温泉宿です。



風呂の一部

四季の宿 みのや(本館)



夕食の一部

越後一の宮・彌彦神社前の純和風旅館です。



風呂の一部

彌彦グランドホテル(東館)



夕食の一部

源泉に一番近い風呂自慢の宿。



風呂の一部

出発日 2011年 **10月1日(土) ~ 11月30日(水)**

- 1泊2日 ■ 食事/夕食1回、朝食1回付
- 宿泊/4施設よりお選びください。

往復のJR(東京~弥彦)



宿 泊

- 旅行代金/東京駅発着おとな(こども)1名様

22,700円~34,300円
(こども13,700円~27,300円)



※詳しくは、専用パンフレットをご覧ください。

ご予約&クーポン無料宅配OK!

びゅう予約センター 平日 21:00 まで
0570(04)8928

携帯電話・PHS・IP電話・ひかり電話からは ▶▶ 03(3843)2001

千葉県内のお客さま 043-221-8605

茨城県内のお客さま 029-227-3761

お申し込み・お問い合わせは JRの駅にある

びゅうプラザ(旅行カウンター) 又は、主な旅行会社へ

※平日・土曜・日曜・祝日 9:30から営業

平日 20:00 まで 営業

19:30まで営業 (吉祥寺・三鷹・国分寺・立川)

インターネット 必ずはお申し込みください! びゅう 検索
えきおど にアクセス! <http://www.travel.eki-net.com>

●旅行代金には、行旅に必要とされた交通費、宿泊費、消費税等が含まれております。●おとな1名を食む2名以上でお申し込みください。●最少旅行人数2名。●お申し込みは旅行代金に限りません。●東京駅以外の発着コースもございます。●お申し込みの際は別途お渡しする詳細旅行条件書をお受け取りになり十分にお読みください。

旅行企画・実施 JR 東日本旅客鉄道株式会社
東京駅西口 旅行センター214号 東京駅西口4F402号 一都三県入国管理局管内 旅行センター

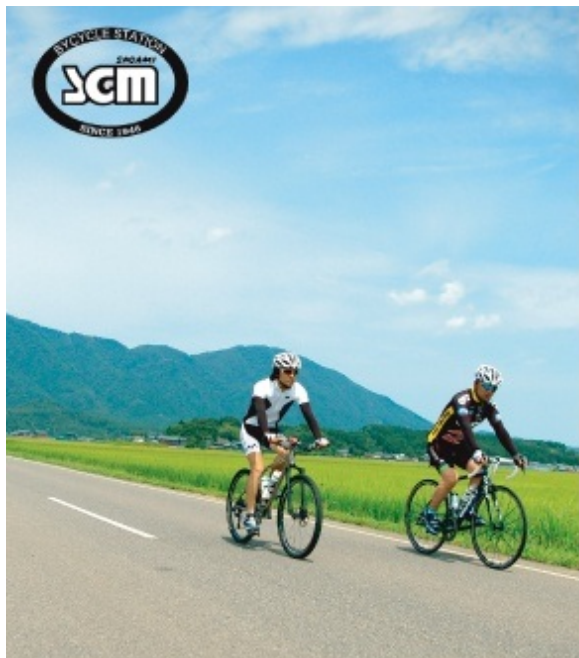
この村を駆け抜ける
——
ずっとこの村を走っていたい。



新潟市内から車を走らせてきた。1時間もしないうちに、グリップを握りたい衝動に駆られる。車を停めて、自転車にまたがる。山の風と海風が心地よい、弥彦村。時には誰もいない農道を走ることもある。風が舞って、山が眼前にそびえ立つ。その荘厳さに圧倒されながら、ペダルを踏み込んだ。新しいシユーズとの感触も良好だ。仕事が終わりのうち、週に1回はこの空気を味わいたくてやって来る。仲間と一緒に、または1人でも、新潟市内から自転車で行くことがある。弥彦村に入ってから、本当は止めることなくペダルを踏み続けることが気持ちいいのだけど、この村にはもっと気持ちよすぎる場所が多すぎて。

俺達は、つい立ち止まって見とれてしまう。ああ、また新しい景色。





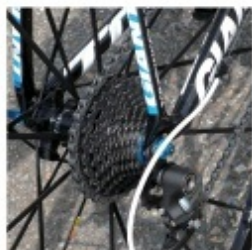
上/弥彦小学校近くの丘の上からは、田園地帯が見渡せる内緒のスポット。左/麓から東へまっすぐ。買沢な道が続く。下/弥彦山へは自転車を車のトランクに詰めて日本海を眺めて走るのは爽快！右/こちらも丘の上にあるぶどう畑。ここは高原か？と見紛う弥彦の魅力が満載



新潟市で自転車店を営む、2人に出会った。山田さんと、店長の小林さんだ。競輪の村でもあるこの弥彦を走ることが、日常の疲れを癒す最高の楽しみなんだとか。小林さんの愛車は、この3年ほど乗っている「GIANT(ジャイアント)の「TOR ADVANCED SL」もともと青色だったハンドルやロゴなどを、ステッカーなどを使ってオリジナルの白色にしたそう。サイクルコンピュータも、それぞれ違うもののセレクトして装着。格好いい！もともと使い勝手の良い自転車を、自分の色に染めていくのも楽しみの一つ。お店では相談にものってくれるので、気軽に聞いてみは？自分のお気に入りの自転車を見つけたら、今度はお気に入りの風景を探しに…。

心地よく頬を撫でる風と、遠く向こうまで広がる田園風景。まるで高原のような果樹園と、眼下に望む弥彦の大鳥居。

あなたのサイクリングは、どこから始めましょうか？



バイクと自転車の専門店 **佐上商会**
 住所：新潟県新潟市東区太平 4-8-35 (自転車の駅サガミ)
 電話：(025) 275-3369
 HP：http://www.sagaminet.com/



ひとが暮らす。その、いちばん近くで。

好きな服を着ると、誰かに会いたくなる。旬のものを食べると、自然に感謝できる。
おなじものでも、ひとの暮らしを、ちょっと幸福なものにできる。
店頭にならぶものは、そうあるべきだと、私たちは思っています。
ユニー株式会社の前身である西川屋が誕生してから、100年目。
お客様の生活に、毎日に、感動を届けられるように。
ユニー株式会社の、次の100年にご期待ください。

／毎週火曜日／
火曜特売

新から食料品を中心に買得品満載!!

毎日開催!! 午後4時スタート!!

夕方から4時の市

夕方からはじまるお買得!!

毎月19日・20日は
UCSカード会員さま

UCSカードでのお支払いまたは
現金でのお支払いで

5% OFF
感謝デー

衣料品・食料品・暮らしの品が5%OFFと
なります。(一部商品を除きます。)

アピタ新潟亀田店

新潟市江南区端ノ子4-466 ☎(025)383-3211

[営業時間] 9:00 ▶ 21:00

感動

100年

ユニー
創業100周年

APITA

弥彦浪漫 秋号

<http://p.booklog.jp/book/33999>

著者：弥彦観光協会

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yahikokankou/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/33999>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/33999>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.